

# 京都観世会四月例会

令和4年4月24日(日) 午前11時開演 (午前10時開場)



巴

〈能〉

宮本茂樹

土筆

〈狂言〉

茂山あきら

高野物狂

元禄本三ヨル

〈能〉

片山九郎右衛門

国栖

〈能〉

吉浪壽晃

主催 公益社団法人 京都観世会

## 会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44 (東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み

☎ 075-771-6114

<http://www.kyoto-kanze.jp>

WEBサイトの公演情報からご予約が出来ます。



本公演は新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策に取り組み開催致します。

前売券は3月1日(火)より発売致します。

◆WEBで指定席が購入できます◆

一般前売指定席券 (1階)	8,000円	※webにて販売
一般前売自由席券	6,000円	
一般当日券 (自由席)	6,500円	
学生券 (2階自由席)	3,000円	

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

### 京都観世会館案内図



- ◆京都観世会館へは
- J R京都駅から
- 市バス[5][100]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 徒歩約3分 (乗車時間約30分)
- 地下鉄烏丸線「烏丸池駅」にて東西線に乗り換え 「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
- 阪急京都河原町駅から
- 市バス[31][46][201][203]で「東山仁王門」下車 徒歩約5分 (乗車時間約15分)
- 京阪三条駅から
- 市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車 徒歩約3分 (乗車時間約7分)
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
- J R二条駅から
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
- 山科・醍醐方面から
- 地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9~17分)
- 地下鉄東西線「東山駅」から
- ①番出口から徒歩約5分
- ◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

# 京都観世会四月例会

## 巴

宮本茂樹 (能)  
 従僧有松遼一  
 旅僧原大  
 従僧岡充  
 里人増田浩紀  
 大鼓谷口正壽  
 小鼓林吉兵衛  
 笛斉藤敦

## 土筆

(狂言)  
 男甲茂山あきら  
 男乙丸石やすし  
 休憩二十分

## 高野物狂

元禄本ニヨル  
 平松春満味方 慧  
 片山九郎右衛門  
 高野山僧 宝生欣哉  
 下人茂山逸平  
 休憩十五分

歌占 (仕舞)  
 班女アト  
 田茂井廣道  
 塚本和雄

## 国栖

王吉浪咲紀  
 老嫗河村紀仁  
 天女吉田篤史  
 吉浪壽見  
 旅僧福王知登  
 奥昇中村宜成  
 奥昇矢野昌平  
 大鼓石井保彦  
 小鼓林大輝  
 太鼓前川光長  
 笛左鴻泰弘

追手 茂山千之丞  
 追手 丸石やすし

附祝言

(終了予定 四時半頃)

## 後見・地謡

(後見) 杉浦豊彦 (地謡) 谷弘之助  
 大江又三郎 樹下千慧  
 梅田嘉宏 大江広祐  
 田茂井廣道 大江信行

(後見) 増田浩紀

(後見) 橋本忠樹 (地謡) 河村和晃  
 青木道喜 河村和貴  
 味方深野貴彦 河村晴道  
 味方團 河村和重  
 玄

(地謡) 谷弘之助  
 片山伸吾  
 浦田保浩  
 樹下千慧

(後見) 林宗一郎 (地謡) 寺澤拓海  
 井上裕久 河村浩太郎  
 浦部幸裕 大江泰正  
 河村晴久 古橋正邦

### 【お知らせ】

当館ではアルコール消毒液の設置や、多くのお客様が手に触れる箇所には定期的に清掃・消毒を行っております。  
 ・「検温」「マスク着用」「咳エチケット」「手指消毒」のご協力をお願い申し上げます。  
 ・発熱・咳など風邪症状のある場合は、ご来館前に医療機関にご相談ください。  
 ・「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。  
 今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容変更または延期となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 解説

木曾の山家より都へ上る僧が、近江国栗津原に立ち寄る。由ありげな女が現れ、神前へ涙を流す。僧の不審に答へ、女は、この祭神が木曾義仲であること、この祭神の五衰を慰めるために説経を勧める。そして我が名は里人に尋ねよと言いつつ姿を消してしまつた。(中人)  
 僧は里人から、今の女は巴御前の化身であろうと教えられ、説経して待つと、巴の幽霊が再び現れ、栗津原の合戦で討たれた義仲の最期と、義仲の形見を持つて生き長らえ、弔いを乞うて消えさる語り、巴は最愛の人、義仲とともには死ぬことを望んだ。義仲は巴に、生きて形見を木曾に届けよと命じた。来世までも添うために死を望んだ巴に、「三世の契り絶え果て、永く不孝」と言い放つた義仲。ははや巴には、生きるよりほか道はなかった。男の愛は、社会的正義や、大義の上になり立つては、女の愛は、ヒューマニティに根ざしている。愛の方向のずれ違いによる魂は救われることも、互いの形見を抱いて落ち行く巴の後姿に、未来永々因果を恨み続け、魂の苦患が象徴される。(巴)は戦をするから修羅能であるのではなく、戦をめくつて安息を得ぬ魂が描かれるから修羅能なのである。

## 高野物狂

常陸国の平松殿が亡くなり、家臣の高師四郎が平松の春満を撫育していた。主君の忌日に菩提寺に詣り、高師に、下人が春満の置き手紙の届けに来る。そこには春満の出家の覚悟が記されていいた。四郎はともかく若君の後を追ひ、常陸の国を後にする。(中人)  
 場面は紀州、高野山に変わる。高野山の僧が、近ごろ師弟の契りをした春満を伴つて、三鈴の松へと出掛けた。そこへ物狂となつた高師四郎が文竹を肩に、幼い主君を訪ねてやってくる。僧は、物狂はこの高野の山内には入れぬと制した。シテは弘法大師の例を引いて、僧と問答をはじめる。そして高野の縁起を語る。また静謐な高野の内に声明の聲に触れること、境地を語り、舞い狂つた。やがて春満は、この物狂こそ傳・高師四郎だと気づき共に下る。そして高師四郎も髪を名ろし。その流派によって、詞章や演出の違いが多く見られる曲である。現代の観世流では、子方を雅見姿とし、高師四郎の説得のもと、家を継ぐことになっている。今回は元禄本のキリ部分の詞章を練り直した味方健改作による上演となる。

## 国栖

清見原天皇一行は、大友皇子に攻められ、吉野山中に逃れる。漁師の老夫婦が川舟に乗り帰つてみると、我が家の上に紫雲がたなびいて、家に入ると清見原天皇一行がくまなく見られる。清見原天皇一行が頼む。尉はかくまうよう尉に頼む。逃げている間、二、三日なにも食べていない。天皇(船)等をもよほり、食す。天皇が尉の残り飯を尉に与える。尉はその跡がいまだ生きて生きとして見ると、吉野川に放して天皇の行末を吉野川に放す。すると尉は生き返り再び泳いだので天皇の将来が安泰であるとほげます。そこへ大友皇子の追手がせまる。尉と娘は天皇を舟底に隠して窮地をのりきる。やがて夜も更け妙なる音楽が聞こえ、老夫婦は姿を消す。(中人)  
 代わつて天女が天降り、舞の袖をひるがえして天皇をなぐさめると、蔵王権現も現れ清見原(天武)天皇の行末の久しからんことを予祝するのだった。  
 壬申の乱の史実に加え、宮中で行われる「五節の舞」が、天武天皇が吉野にいた時に天女が五たび袖をひるがえしたのが始まりとする伝説をとり合わせて作られた能。前シテの尉を神の化身として見ても、土着の骨太い老人と見ても、面白い。

### 次回予告

## 京都観世会五月例会

令和4年5月22日(日)

午前11時開演

(能) 通小町 橋本 雅夫  
 雨夜之伝

(狂言) 附子 小笠原 由禰

(能) 羽衣 古橋 正邦  
 彩色之伝

(能) 雷電 大江 泰正

### 【表紙写真】

「高野物狂」片山幽雪

金の星渡辺写真場撮影

### お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。